

Syosset Central School District

2016年9月15日改訂

保護者各位

サイオセット中央学校区では、食物アレルギーに関する新手順の実施を開始しましたが、その有効性と明瞭性の評価を実施中です。そのため、改訂版食物アレルギーレターと誕生日パーティー用に事前承認されたスナックリストをお送りします。

本学校区には食物アレルギーを持つ児童が多数おり、その反応は軽度（胃腸の不快感、目・鼻・肌のかゆみ）から重度かつ命に関わるもの（呼吸器系、心臓）まで、幅広い可能性があります。アレルゲンへの過敏度も、食物の体内摂取によるものから、ただ匂いを嗅いだだけでの反応までと多岐にわたっております。

子どもにアレルギー症状を引き起こす最も一般的な食物には、ピーナッツ、木の実、乳製品、卵、大豆、魚、貝類、小麦、ゴマが挙げられます。

本学校区では、児童の安全と健康を守るための取り組みを精力的に行っています。昨年度本学校区は、偶発的暴露の可能性を抑制し、暴露が起きた場合の対応を最大限効果的に行えるよう、新方針・手順を採用しました。我が子にアレルギー症状が出るかどうかは別として、全児童の安全を守ることは学校コミュニティ全員の共同責任であり、全員の協力なしには成立しません。

今秋から本学校区では、教職員を対象に食物アレルギーと緊急時対応トレーニングを開始します。緊急対応装置（エピネフリン自動注射器、別名「エピペン」）が各校舎の複数箇所に設置されます。

教員らは学年に応じ、命に関わるアレルギー反応の深刻さと、クラスメートにスナックを分けたり交換したりしないことの重要性をクラスで話し合います。

偶発的暴露の可能性を完全に排除することはできませんし、排除を試みるのが間違った安心感を作り出すことも認識しております。しかしながら、偶発的暴露の可能性を低減させ、児童全員がグループ活動に参加できるよう、そして各児童の健康状態に関するプライバシーを守る対策を講じることは可能です。以下のガイドラインを各小学校に一貫して適用することで、お子さんが学校区のどこに住んでいるかに関係なく、これらの目標を確実に達成することができます。

次に重要ポイントをいくつか掲げます。

- 食物を教育のインセンティブあるいはほうびに使ってはならない。学校が食べ物の出る誕生日パーティーを許可する場合、1か月に1回のみとし、

実際の誕生日に生徒が特別な気分になれる他の手段も利用する。食べ物が中心の祝い事が行われる場合、学校はクラス全員が安全に食べられるもの最低 1 種類を含む食べ物リストを前もって用意する。

- 各カフェテリアで少なくとも 1 つのテーブルを、ピーナッツまたは木の実（ピーナッツバター、アーモンドバター、ピーナッツ入りグラノーラなど）が入ったランチを持参した児童のために用意する。こうして空中アレルギーを封じ込めるあらゆる努力を行い、特別な清掃手順でテーブルを清掃する。他の場所での暴露は低減できるが、こうした努力をしても、他のテーブルにアレルギーが付着していないとは言い切れない。
- 命に関わるアレルギー症状を持つ児童の担任はこの情報を自分の緊急フォルダーに保管する。
- 中等学校では、各クラスに「アレルギー低減椅子」と特定された椅子を設置する。既知のアレルギーを含む食物を摂取する生徒はその椅子に座らないようにし、特別な清掃手順が用いられる。

お子さんに命に関わるアレルギーがある場合、学校区が各校舎内で生徒に配慮できるよう、父母・保護者が責任をもって学校の看護婦または学校管理者にお知らせください。そのため、父母の方々には改訂版「児童生徒健康サービス方針」の熟読をお願いいたします。

以下に、命に関わるアレルギー症状とアナフィラキシー対応の重要項目をいくつか掲げます。

- 父母・保護者は、アレルギーをもつ我が子に、初発症状の認識のしかた、それを教職員に伝えること、スナック・ランチ・食器類を交換しないことを伝える。
- 父母・保護者からの連絡を受けて、児童生徒が 1973 年リハビリテーション法に基づく配慮適格者の場合、個別健康計画（IHP）、応急処置計画、あるいはセクション 504 配慮計画などを策定するための会議が招集されることもある。
- 児童生徒の命に関わるアレルギーについて、父母・保護者は緑色の緊急カードに記入し、学校に戻す。
- 事前承認されたスナックリストは学校区ウェブサイトから閲覧可能で、学年開始時に父母・保護者に配布され、必要に応じて改定される。

これらの新手順には多少の調整が必要になるかもしれませんが、皆様のご辛抱・ご理解をお願いいたします。

ご家族皆様が残りの夏を楽しく過ごすことを願っております。新学年も安全で実り多い学年となりますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

以上